

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和6年6月】

■調査概要（データ対象期間：令和6年6月1日～6月30日）

○調査期間：令和6年6月30日～令和6年7月19日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査及び全会員対象の
Web景気動向調査アンケート

○回収状況：建設業18企業、製造業18企業、卸売業13企業、小売業16企業
飲食業12企業、サービス業35企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計112企業>

○調査項目：6月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DI共にマイナス幅が拡大した

1. 業況判断

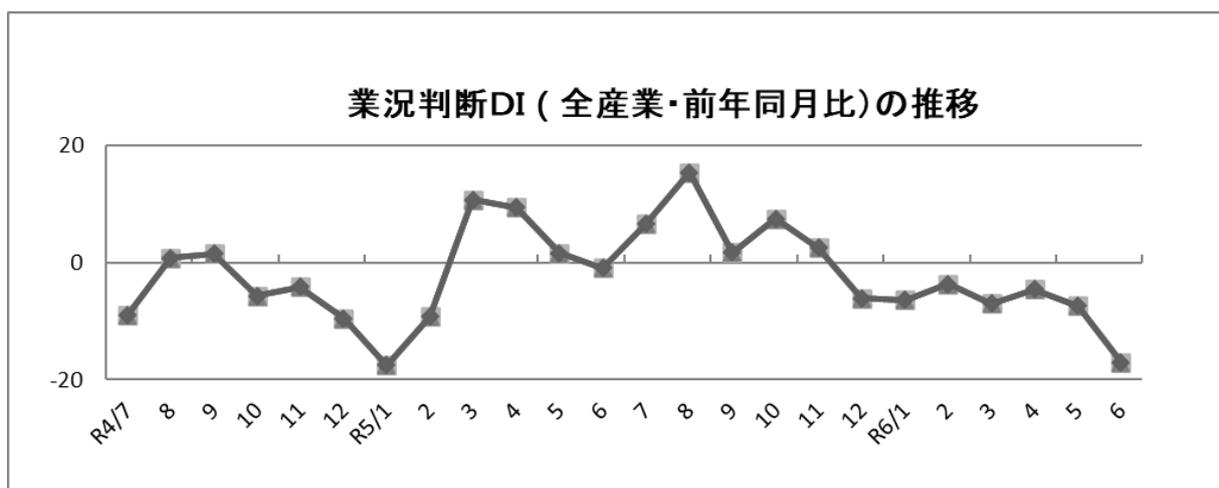
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲7.4)より9.6ポイント下降し、▲17.0となった。業種別では、飲食業はプラス幅が拡大し、小売業はマイナスからプラスへ転じた。サービス業は0からマイナスへ転じ、建設業・製造業・卸売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲15.6)より7.6ポイント下降し、▲23.2になった。業種別では、小売業はマイナスからプラスへ転じ、飲食業はマイナス幅が縮小した。サービス業・製造業・建設業・卸売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	13.4 (18.7)	56.2 (55.2)	30.4 (26.1)	▲17.0 (▲7.4)	10.7 (17.2)	55.4 (50.0)	33.9 (32.8)	▲23.2 (▲15.6)
建設業	0.0 (5.0)	61.1 (70.0)	38.9 (25.0)	▲38.9 (▲20.0)	0.0 (5.0)	61.1 (70.0)	38.9 (25.0)	▲38.9 (▲20.0)
製造業	5.6 (15.0)	61.1 (65.0)	33.3 (20.0)	▲27.7 (▲5.0)	11.1 (20.0)	50.0 (50.0)	38.9 (30.0)	▲27.8 (▲10.0)
卸売業	0.0 (20.0)	46.2 (46.7)	53.8 (33.3)	▲53.8 (▲13.3)	0.0 (20.0)	53.8 (33.3)	46.2 (46.7)	▲46.2 (▲26.7)
小売業	25.0 (16.0)	62.5 (52.0)	12.5 (32.0)	12.5 (▲16.0)	25.0 (16.0)	56.2 (44.0)	18.8 (40.0)	6.2 (▲24.0)
飲食業	25.0 (31.3)	58.3 (43.7)	16.7 (25.0)	8.3 (6.3)	16.7 (18.8)	50.0 (43.7)	33.3 (37.5)	▲16.6 (▲18.7)
サービス業	20.0 (23.7)	51.4 (52.6)	28.6 (23.7)	▲8.6 (0.0)	11.4 (21.1)	57.2 (52.6)	31.4 (26.3)	▲20.0 (▲5.2)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

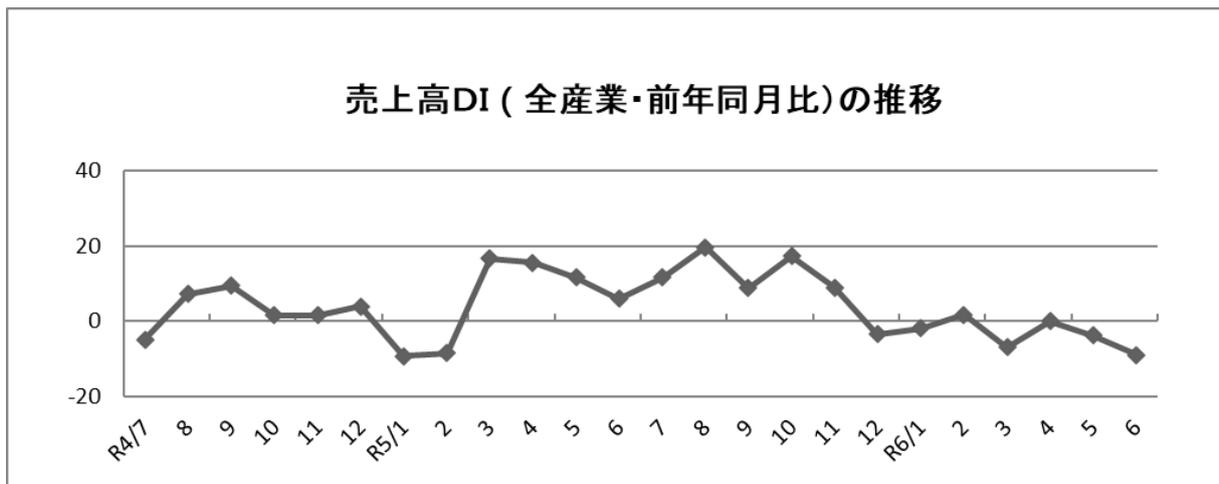


2. 売上高DI (前年同月比)

○全産業合計の売上高DIは、前月(▲3.7)より5.2ポイント下降して、▲8.9となった。
業種別に見ると、サービス業・製造業はプラスからマイナスに転じ、飲食業は0からプラスになった。小売業はマイナスからプラスに転じ、建設業・卸売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全体	6.0	11.6	19.7	8.8	17.3	9.0	▲3.5	▲1.8	1.8	▲6.9	0.0	▲3.7	▲8.9
建設業	0.0	▲23.5	▲27.7	▲17.6	▲5.9	0.0	▲5.3	▲11.7	▲13.3	▲22.2	▲21.0	▲25.0	▲38.8
製造業	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲23.5	11.8	6.2	▲31.5	▲5.9	5.0	▲22.2
卸売業	12.5	8.3	9.1	▲8.3	▲9.1	0.0	21.5	▲15.4	0.0	▲7.7	▲15.4	▲6.7	▲38.5
小売業	▲4.5	8.3	40.0	▲15.0	14.3	▲16.7	10.6	0.0	9.1	19.1	6.6	▲16.0	18.8
飲食業	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0	▲33.3	0.0	0.0	33.3
サービス業	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲12.1	▲3.1	3.0	9.4	17.7	10.5	▲2.9

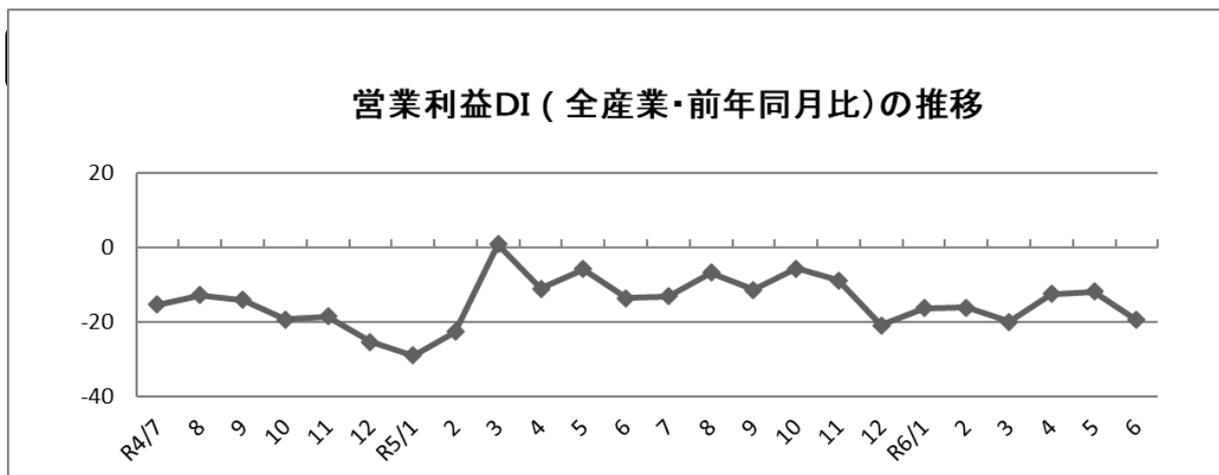


3. 営業利益DI (前年同月比)

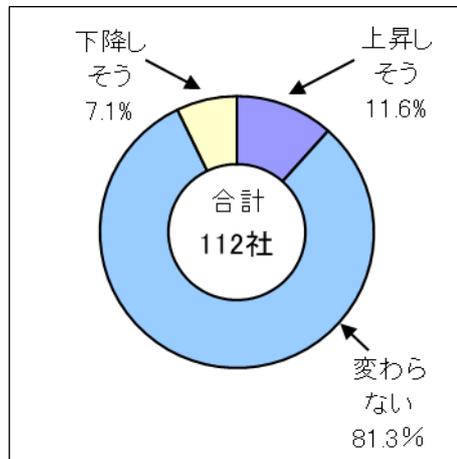
○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲11.9)より7.7ポイント下降して、▲19.6となった。
サービス業はプラスからマイナスに転じ、製造業・卸売業は0からマイナスになった。小売業はマイナスから0になり、飲食業はマイナス幅が縮小した。建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全体	▲13.6	▲13.2	▲6.8	▲11.4	▲5.8	▲8.9	▲20.9	▲16.4	▲16.2	▲20.0	▲12.6	▲11.9	▲19.6
建設業	▲20.0	▲29.4	▲38.8	▲29.4	▲17.6	▲5.0	▲15.8	▲23.5	▲13.3	▲22.2	▲21.0	▲30.0	▲50.0
製造業	▲15.8	▲26.3	▲33.4	▲13.3	▲27.7	▲29.5	▲35.3	▲5.9	▲25.0	▲57.9	▲35.3	0.0	▲16.6
卸売業	0.0	0.0	▲18.2	▲16.7	▲27.2	▲25.0	▲7.1	▲23.1	▲23.1	▲7.7	▲7.7	0.0	▲46.2
小売業	▲18.2	▲12.5	5.0	▲30.0	▲14.3	▲22.2	▲15.8	▲22.2	▲18.2	▲19.0	6.7	▲24.0	0.0
飲食業	▲16.6	▲7.7	28.6	0.0	14.3	▲10.0	▲53.8	▲15.4	▲16.7	▲41.6	▲15.4	▲37.5	▲8.3
サービス業	▲8.1	▲5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲12.1	▲12.5	▲9.1	6.3	▲5.9	5.3	▲8.6



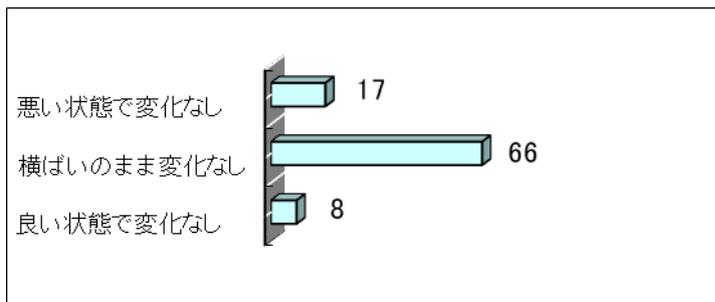
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和6年7月～9月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ4.1ポイント減り11.6%、「下降しそう」が前月の調査に比べ0.4ポイント増え7.1%となった。業種別の見通しDIは建設業(5.5)、製造業(11.1)、卸売業(▲30.8)、小売業(0.0)、飲食業(25.0)、サービス業(8.5)であった。

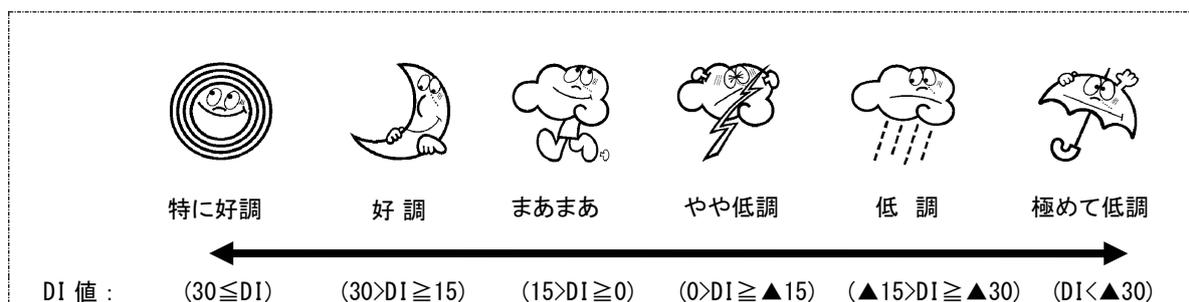
➡「上昇しそう」では「公共工事の発注が増えそうであるため」「新年度工事が発注されたため」(建設業)「防衛や宇宙関連が引き続き好調に推移する見込みのため」「当月が極端に悪かったため」「受注量増加のため」(製造業)「夏休みシーズンで観光客の動きがありそうのため」(小売業)「夏季繁忙期による客数増加のため」「夏の暑気払いシーズン到来のため」「売上と客数が増えてきているため」(飲食業)「インバウンドが好調なため」「インバウンドの需要拡大の影響は引き続き変わらないため」「予約の状況が好調のため」「繁忙期のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「手持ちの仕事がないため」(建設業)「猛暑による消費減少のため」「円安傾向で仕入価格が上がったため」「日本人観光客の激減により地域差があるため」(卸売業)といった声が寄せられた。

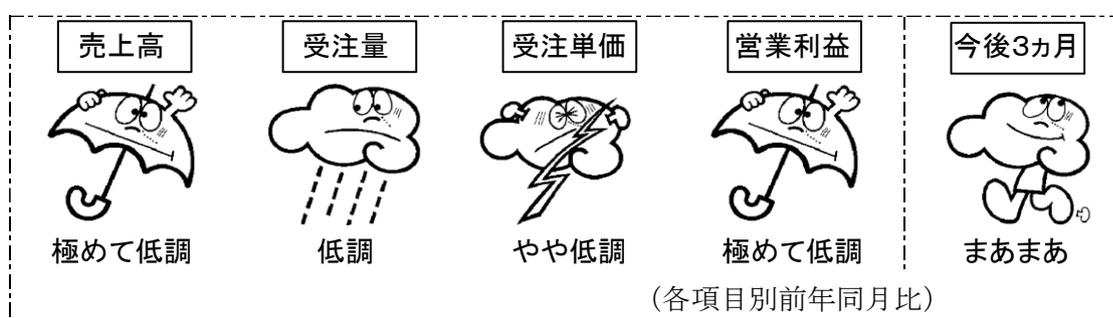


業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6	▲ 5.9	0.0	▲ 5.3	▲ 11.7	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 25.0	▲ 38.8
受注量	▲ 15.0	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 11.7	▲ 26.6	▲ 16.6	▲ 21.1	▲ 30.0	▲ 27.7
受注単価	0.0	▲ 5.9	5.6	5.9	5.9	5.0	5.3	5.9	0.0	0.0	0.0	5.0	▲ 5.6
営業利益	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 5.0	▲ 15.8	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 30.0	▲ 50.0
見通し	5.0	5.9	5.5	5.9	0.0	0.0	▲ 10.5	▲ 5.9	▲ 13.3	▲ 11.1	0.0	15.0	5.5

<経営者の目・見方・e t c >

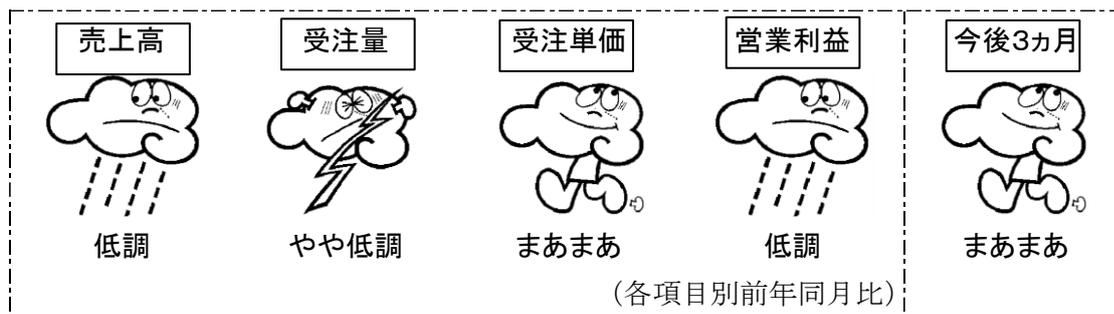
鉄工

- ・地元の比較的大きな物件で受注元請会社より安値の指値が出回っており、赤字覚悟で請負う業者が出てくるのか注目されている。

土木工事

- ・地元の物件が少ないような気がする。
- ・復旧の進まない能登半島の大地震を教訓に、林道整備を含む道路網の整備が急がれる。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲ 23.5	11.8	6.2	▲ 31.5	▲ 5.9	5.0	▲ 22.2
受注量	5.3	▲ 5.3	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 31.6	▲ 23.5	▲ 5.0	▲ 11.1
受注単価	21.0	26.3	16.7	▲ 6.7	16.7	0.0	0.0	23.5	12.5	▲ 10.5	11.7	15.0	11.1
営業利益	▲ 15.8	▲ 26.3	▲ 33.4	▲ 13.3	▲ 27.7	▲ 29.5	▲ 35.3	▲ 5.9	▲ 25.0	▲ 57.9	▲ 35.3	0.0	▲ 16.6
見通し	▲ 15.8	▲ 5.2	16.6	0.0	16.6	▲ 5.8	▲ 17.6	23.5	6.3	0.0	0.0	0.0	11.1

<経営者の目・見方・e t c>

印刷

・印刷物等の業務委託に関する価格転嫁が予算に盛り込まれていないということがあった。

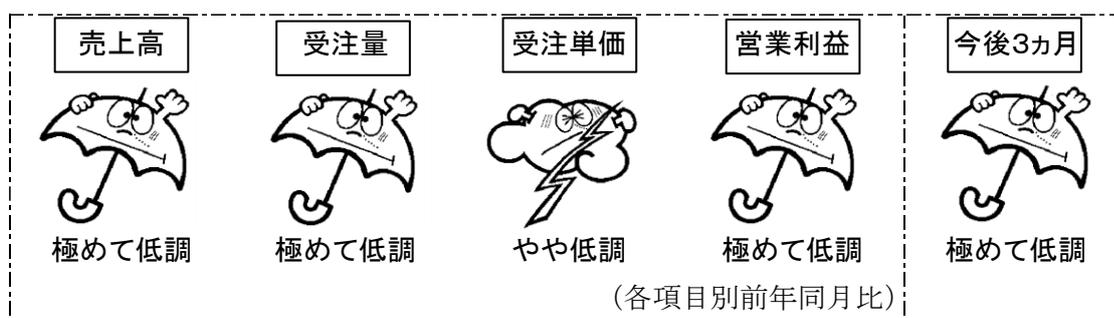
小型情報機器組立

・先の見通しがよくわからない。

金属塗装

・受注、売上が多少上向きつつあるが、中国の状況が良くない。いつ頃動き出すのか心配である。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	12.5	8.3	9.1	▲ 8.3	▲ 9.1	0.0	21.5	▲ 15.4	0.0	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 6.7	▲ 38.5
販売客数	12.5	▲ 8.4	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 7.1	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 15.4	6.6	▲ 30.8
販売客単価	12.5	25.0	27.3	8.3	18.2	0.0	14.3	▲ 7.7	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 7.7
営業利益	0.0	0.0	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 27.2	▲ 25.0	▲ 7.1	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 46.2
見通し	0.0	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 18.2	0.0	▲ 7.2	▲ 23.1	0.0	▲ 7.7	15.4	0.0	▲ 30.8

<経営者の目・見方・e t c>

魚介類

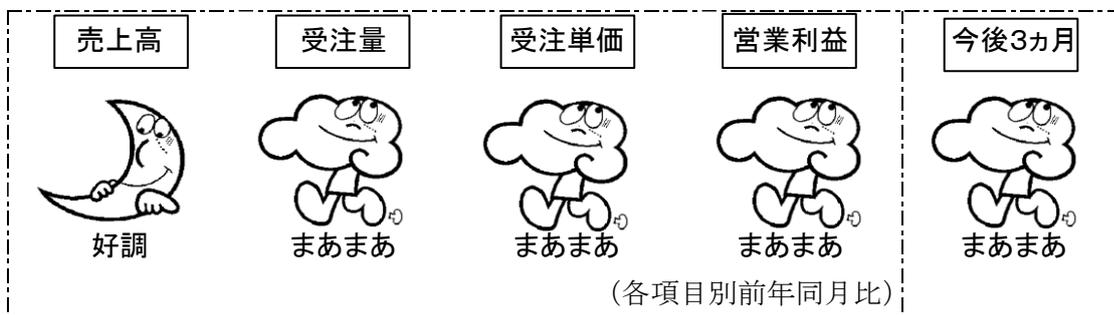
・インバウンド人口は増加しているようだが、飲食店への波及は少ないのではないかと。

自転車

・各地でイベントが復活してきた。展示会などコロナ禍前に戻り開催されている。依然値上げの話がある。

土産品	・前年比20%の落ち込みと厳しい状況である。インバウンド頼みも限界である。都市部とは違う。
金属製品	・高炉主体に値上げ要請となっている中、流通は値動きが悪く、物量に陰りがある状態が続いている。
製菓材料卸売	・輸入原材料の値上がりが全く止まらない。年末に向けてもかなり厳しそうである。
木材・建材	・正月の能登半島地震以降、耐震に関する相談や問い合わせが現在も続いている。耐震診断等の件数も増加しており、大地震等に備えた危機意識の高まりを感じている。

4. 小売業



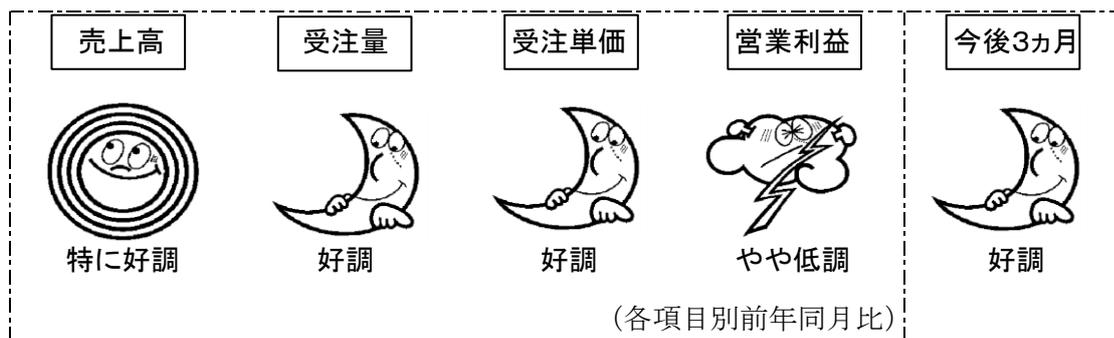
【項目別DIの推移】

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲4.5	8.3	40.0	▲15.0	14.3	▲16.7	10.6	0.0	9.1	19.1	6.6	▲16.0	18.8
販売客数	▲9.1	4.1	20.0	▲20.0	9.6	▲5.6	0.0	5.5	9.1	0.0	0.0	▲16.0	6.2
販売客単価	9.1	25.0	15.0	▲10.0	▲14.3	▲5.6	0.0	▲5.6	9.1	19.1	20.0	▲12.0	12.5
営業利益	▲18.2	▲12.5	5.0	▲30.0	▲14.3	▲22.2	▲15.8	▲22.2	▲18.2	▲19.0	6.7	▲24.0	0.0
見通し	13.7	8.3	0.0	0.0	▲19.0	▲5.6	▲21.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0

<経営者の目・見方・etc>

洋菓子店	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さや節約で店の売上は横ばいである。積極的に地域のイベントへ参加しているので昨年よりはやや良い。 ・暑くなってくると洋菓子は売れなくなってくる。耐え忍ばなければならない。また、取引業者の話だと、例年以上に発注が少なくなっているらしい。良い情報が何もない。
印章	<ul style="list-style-type: none"> ・印鑑素材、ケース類などの仕入価格が軒並み上昇してきているので、そろそろ販売価格の値上げに踏み切りたい。
印章・刃物研ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨に入り人出と雨が心配である。
生鮮食品	<ul style="list-style-type: none"> ・6月は父の日があり昨年より良かった。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	33.3
販売客数	25.0	23.1	57.2	57.2	50.0	20.0	15.4	7.7	8.4	▲ 25.0	0.0	▲ 6.2	16.7
販売客単価	▲ 16.7	23.1	28.6	7.1	28.6	10.0	7.7	0.0	0.0	25.0	7.7	6.3	16.6
営業利益	▲ 16.6	▲ 7.7	28.6	0.0	14.3	▲ 10.0	▲ 53.8	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 41.6	▲ 15.4	▲ 37.5	▲ 8.3
見通し	25.0	0.0	7.2	7.2	14.3	0.0	▲ 7.7	7.7	33.3	16.7	7.7	25.0	25.0

<経営者の目・見方・e t c>

寿司

- ・手足口病、新型コロナウイルス感染者数が再び増加傾向にあるなか、今後の推移が気になるところである。今のところお客様動向には影響はないが、スタッフ感染については引き続き留意したい。

- ・6月後半は梅雨時であるにもかかわらず好天に恵まれた。客足も好調であった。ただ、食中毒の発生しやすい時期に入ってくるので、十分気を付けて営業したい。

食堂

中華料理

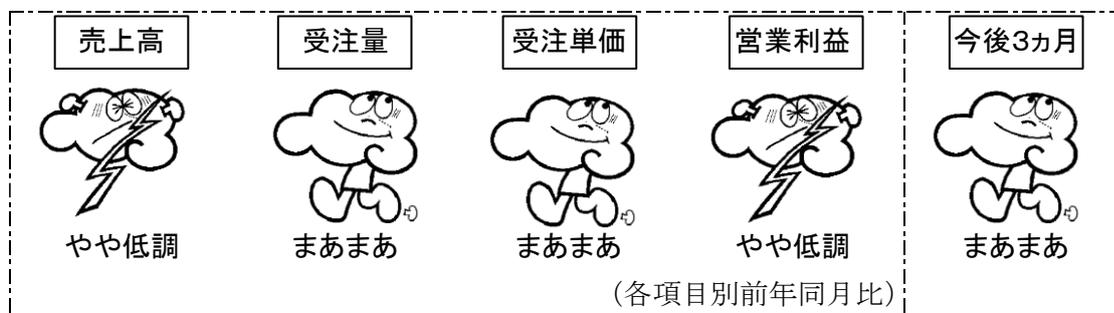
- ・物価高騰でメニューの値上げも考え、仕入に頭が痛い状況である。

- ・物価の高騰が止まらず、値上がりしていない物がない。油は20缶のまとめ買いで仕入れ値を下げ何とか助かった。ガスも高く、弱火で中華料理というわけにはいかないため困っている。縄手通りのカエル祭りが雨だったが人出が多く盛り上がっていた。商店街の人々の努力の賜物である。

居酒屋

- ・人手不足である。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲ 12.1	▲ 3.1	3.0	9.4	17.7	10.5	▲ 2.9
販売客数	0.0	11.1	8.3	11.1	12.5	8.6	▲ 18.1	▲ 3.2	9.1	12.5	14.7	10.5	0.0
販売客単価	5.4	11.1	19.4	19.4	27.5	11.4	▲ 3.1	0.0	6.0	18.8	17.6	23.6	5.7
営業利益	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲ 12.1	▲ 12.5	▲ 9.1	6.3	▲ 5.9	5.3	▲ 8.6
見通し	24.3	13.8	13.9	8.3	2.5	0.0	▲ 6.1	▲ 6.3	9.1	9.3	3.0	13.2	8.5

<経営者の目・見方・e t c>

観光旅館

・前半は相変わらずインバウンドの観光バスが多かったが、梅雨入りしてからは予約のキャンセルもあり昨年と同様の入込となった。月末には大雨による遊歩道や登山道の被害が相次ぎ、夏までに完全復旧できるかどうか不安である。梅雨明けが待ち遠しい。

旅館

・物価の上昇が激しく、多少の値上げをしても追いつかない。

ホテル

・宿泊はインバウンド、国内旅行ともに客数、単価が上昇した。会議、宴会は数は戻ったが規模が小さい傾向である。料理単価は上昇した。

ホームクリーニング・

・売上は順調に推移しているが、ガソリン代など輸送コストが高止まりである。日本一高いガソリン代が何とかならないものかと思う。

リネンサプライ業

タクシー

・コロナ禍明け以降、松本市を訪れる観光客も徐々に増えつつあると感じている。8月頃から期待している。

機械設計

・昨年度に比べ今年度は低調である。もう少し様子を見る。

ソフトウェア

・全ての顧客企業が先進技術を背景にしたDXに取り組んでいるわけではない。ようやくデータの活用とシステム投資に着手し始めたユーザーも多く、引き合いが進んでいる。一般的な設備投資と異なり、システムは昨日のことがすぐに陳腐化する。放っておくとすぐにExcelを使用した属人化が発生し、後任に引き継げない業務も多発することになる。

獣医

・経営業績は全般にわたり好業績である。

